第 6 回

もっと幸せな医療研究会

テーマ：ヘルスケア業界のセカンドキャリアをウェルビーイングから考える

「セカンドキャリア」というと、何を思い浮かべますか。
ウェルビーイングの視点からのアプローチは必要不可欠になってきているのではないでしょうか。
ヘルスケア業界では、患者中心のケア、チームワーク、専門性と多様性、コミュニケーションスキル、技術の進歩、規制と法律、倫理的な問題、グローバル化、持続可能なキャリアが求められています。今回は多様なご経験をお持ちの4名のパネリストと、皆さんと考えてゆきます。

日時 2024年5月16日（木）19:00～20:30

会場 **Web（Zoom）先着100名様**

会費 **無料**

Opening：豊島　久雄
（日本経済大学大学院ファーマシーマネジメント研究所）

パネリスト：

井原　慶太郎さん（医療法人友愛会　さとやま整形外科 内科）
佐竹　直也さん（医療法人　松田会　事務部部長）
中谷　若菜さん（株式会社シ―ユーシー　運営本部　事業人事支援チーム）
福田　徹さん（国民民主党愛知県第16区総支部長　救急科専門医/MBA）

モデレーター：シュナック 千賀子
（スリーロック株式会社）

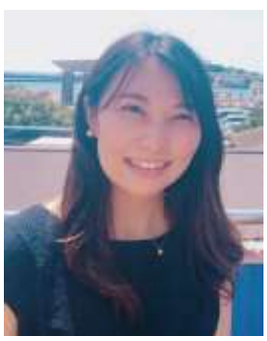
お申込み
Peatix
http://ptix.at/ep2xmY

お問い合わせ
もっと幸せな医療研究会事務局
MAIL mottoshiawasena@gmail.com
全国医療経営士 自主研究会

パネリスト　井原　慶太郎　さん
医療法人友愛会　さとやま整形外科 内科
27歳で意図せず診療放射線技師から事務長となり5年が経ちました。
専門職（スペシャリスト）から管理者（ジェネラリスト）へのキャリア変遷を経て、大切にしたい地域医療の在り方（＝ステークホルダーの幸せ［Well-Being］）を考えます。

パネリスト　佐竹　直也さん
医療法人　松田会　事務部部長
「井の中の蛙大海を知らず」診療放射線技師から病院事務職になり11年の私が、昔の自分に伝えたい言葉です。立つ位置が変われば見える景色が変わる。景色が変わればやることも変わる。キャリアチェンジはあなたの人生を変えるかもしれません。

パネリスト　中谷　若菜さん
株式会社シ―ユーシー　運営本部　事業人事支援チーム
看護師として地方の総合病院でキャリアをスタート、その後、都内の大学病院、訪問看護を経て、2年前より人事の仕事に携わっております。看護師としてスペシャリストの道以外にもジェネラリストとして多くの選択肢があると実感してます。患者さんを支える立場から、働く人を支える立場となり、医療従事者の働きがいや幸せを考えます。



パネリスト　福田　徹　さん
国民民主党愛知県第16区総支部長　救急科専門医/MBA
救命救急センターの救急医として働きながら、医療経営に携わり、現在は国政を目指して活動しています。
なぜ救急医が国政を目指すのか？私の理念とそれを達成するために選んできた道についてお話させていただきます。